

-기가 무섭게

～するや否や

-자마자 の強調形です。「その瞬間に」という切迫感が加わり、驚きを含みます。

■ つけ方

状況	形	例
すべての語幹	-기가 무섭게	앉다 → 앉기가 무섭게
縮約	-기 무섭게	앉기 무섭게
過去形	つけない	앉았기가 (×)
後ろ	即座の出来事	바로 -았/었다
近い形	-자마자	より一般的
形容詞	つかない	중기가 무섭게 (×)

■ -자마자 とどう違うか

直後を強調します。앉기가 무섭게 전화가 울렸어요 (座るや否や電話が鳴りました)。

자마자 より切迫感が強いです。앉자마자 が単に直後を示すのに対し、앉기가 무섭게 は「座った瞬間にもう」という驚きを含みます。日本語の「するとすぐ」と「するや否や」の差と同じです。

무섭게 (恐ろしいほど) という語が入っているのが特徴で、速さへの驚きを表す比喻です。実際に怖いわけではありません。

過去形はつけません。時制は文末で決まります。

■ 例文

- 1 자리에 앉기가 무섭게 전화가 울렸어요.
席に座るや否や電話が鳴りました。
- 2 문을 열기가 무섭게 손님들이 몰려들었다.
ドアを開けるや否や客が押し寄せた。
- 3 말이 끝나기가 무섭게 반대 의견이 나왔습니다.
話が終わるや否や反対意見が出ました。
- 4 출시되기가 무섭게 다 팔렸어요.
発売されるや否や完売しました。
- 5 눕기가 무섭게 잠이 들었다.
横になるや否や眠りに落ちた。
- 6 비가 그치기 무섭게 사람들이 나왔어요.
雨がやむや否や人々が出てきました。

■ 紛らわしいもの

-자마자
単に直後を示します。기가 무섭게 は驚きと切迫感が加わります。
앉자마자 (すぐ) / 앉기가 무섭게 (や否や)

-는 대로
「し次第」でビジネス向きです。기가 무섭게 は予想外の速さです。
도착하는 대로 (し次第)

-고 나서
完了後の順序です。기가 무섭게 は間を置けません。
먹고 나서 (食べ終えて)

■ まちがえやすい点

- × 앉았기가 무섭게
○ 앉기가 무섭게
過去形はつけません。
- × 중기가 무섭게
○ 形容詞には使えません
出来事の直後を示す形です。
- × 앉기가무섭게
○ 앉기가 무섭게
分かち書きします。